

提出
順番

No.

4

令和元年11月25日

午前・午後10時20分受領

令和元年11月25日

幕別町議会議長 寺林 俊幸 様

幕別町議会議員 小島 智恵



一般質問通告書

次のとおり通告します。

| 質問事項 | 質問の要旨 |
|---------------------|---|
| 1 時間外勤務の縮減を（RPAの導入） | <p>厳しい財政状況のもと、将来的に人口減少、労働力不足、高齢化の進展など課題が多いなか、引き続き質の高い公共サービスを効率的、効果的に提供することが求められる。最近では政府主導により、働き方改革の取組が進められているが、依然として町職員の時間外勤務は多いのではないかと思料する。</p> <p>また時間外勤務に伴い、夜間照明を使用する時間も長くなり、よく目に留まるため電気料増加について懸念する町民の声もある。業務効率化を図るべく、3月一般質問ではRPAなどの導入について提案しているが、株式会社HARPなど5社が共同で行った共同利用型RPA実証実験（平成30年10月～翌年3月）では、北海道をはじめ、道内9自治体が協力し、自治体の定型的な業務を対象に業務の効率化の可能性を検証し、業務によっては最大9割低減できることが確認された。</p> <p>町においても業務効率化を図り、時間外勤務の縮減、住民サービスの向上に向けて、以下伺う。</p> <ol style="list-style-type: none">① 平成30年度の職員一人当たりの年間平均残業時間と時間外手当の総額は。時間外勤務の実態、縮減の取組は。② 精神面での休職者数や配置転換は。③ ワンストップ特例申請処理や給与支払報告書の入力支援などで、RPA、AI-OCRの導入を。④ 節電などコスト削減の取組、職員への意識付けは。 |

| 質問事項 | 質問の要旨 |
|-----------------|--|
| 2 キツネの駆虫薬散布について | <p>有害鳥獣となる鹿、キツネ、鳥類、熊、さらに外来種のアライグマは近年問題視されており、農林業などの被害は著しく、駆除により対策が講じられている。そうした中、「キツネを駆除することにより、ネズミが増え農業被害が増加するので、駆除ではなく駆虫薬(虫下し)の散布で対策してはどうか。駆除を続けると将来的に生態系が崩れるのではないか」と危惧する声が農業者の方より聞かれる。エキノコックス症対策の駆虫薬は、人への感染リスクを下げる試みが国内外で行われており、道立衛生研究所及び北大の研究グループでの調査研究活動では、根室市で実施しキツネの感染率を下げる効果が確認されている。道のガイドラインに基づき、道内の一部自治体、管内では鹿追町が駆虫薬の散布を実施しており、以下伺う。</p> <p>① キツネ、ネズミの生息状況及び駆除数。 ② キツネの駆除を続けた結果、生態系が崩れる恐れはないか。 ③ 将来的に駆虫薬を散布する考えは。</p> |

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。